

REPORT!

今、障害者雇用に取り組む企業

その1

株式会社イトーキ

お話:

株式会社イトーキ 大阪本社
大阪人事部長 北野 勇 氏



聞き手:
ブロップ・ステーション代表 竹中 ナミ
報告者:
FLANKER編集員 大和なでしこ

私こと「大和なでしこ」大阪のある製薬会社に転職して半年目。ある朝、大阪の地下鉄北浜駅からの通勤途中、車椅子で私同様に会社に行く女性を見かけました。「FLANKER」編集員の私としては、漠然と「あの人に“突撃インタビュー”を試みたい!」と思っていたのですが、ある朝、彼女が制服を着ていることに気づき、初めて株式会社イトーキの社員であることを知りました。今まで私の知っている働く障害者の方たちは、いわゆる中小企業が多かったので、「大手企業にも車椅子の女性が勤めているんだ」ということを知り、さらに嬉しくなりました。

これが今回、「会社訪問シリーズ」第1号として取材させて戴くきっかけとなりました。

株式会社イトーキは、1890年(明治23年)12月の創業。今年で104年目の大変歴史ある企業です。イトーキと言えば、事務机やキャビネットをすぐに連想しますが、最近ではオフィス家具はもちろんのこと、公共施設、商業施設、研究施設、物流システム、セキュリティ設備など幅広く手掛けられ、さらに壁、床、天井といったところまでトータルコーディネートされるそうです。また、地球資源や環境に視点を向けた製品開発にも取り組み、人に優しく、オフィスワーカーの「精神と身体の健康」をモットーに社会に貢献しています。

国内には344所の支店、360社の代理店や特約店、さらに海外にも264所の販売網を持ち、全世界的なスケールで事業を展開しています。(資本金 99億800万円、従業員数 1745名(平成4年11月現在))

今回、お話し下さった北野人事部長は、昭和63年イトーキに転職してこられました。現在は人事部で各種制度の取り込みや、従業員の福利厚生、人材開発など、「時代との追いかけてこのような仕事」(ご本人談)に敏腕を振られています。

竹中: 本日はご多忙のところお時間を戴き、ありがとうございます。まず、現在、既に何名かの重度障害者を雇用されているわけですが、株式会社イトーキの人事面におけるポリシーと申しますか、ご方針などお聞かせ願えませんか?

北野氏: 高齢化社会が進む中、定年退職者の退職後の生活などについて思う時、いかに地域に密着した活動ができるか、ということ最近よく考えます。ぱりぱり働いていたときは、「会社」があるわけですが、退職後は自分の活動する場が、家庭及びその周辺、つまり「地域社会」になる

わけです。しかし、何十年もの長い間、「会社」だけで仕事をしてきた者が突然、「地域社会」に溶け込むことはできません。このような観点から、イトーキでは「日頃からいかに地域に密着した仕事・活動をするか?! 社会に貢献するか?!」という点に力を入れて、事業展開を行っています。そういう意味で、企業人がボランティアとして活躍しておられるブロップ・ステーションの活動などにも、関心を寄せております。また、障害者の雇用に関しては、3年程前から人事部として、積極的に取り組みたい課題となっています。

竹 中：御社が障害者の社員を採用されたのは、いつ頃からですか？

北野氏：私がまだ勤めていなかった頃のことなので詳しくはわかりませんが、10年程前に車椅子の男性社員を採用したのが、障害者を雇用した最初のケースです。当時、大阪府の職業安定所から「障害者を雇用するように」指導されたのがきっかけだったと聞いています。

竹 中：日本の、行政指導型の現状から、障害者雇用に関しても政府の指導によって行われるという色合いが強いように思います。行政指導がなければなかなか雇用が進まないのではないかと、とも思うのですが、企業の人事ご担当者として、逆に、このような制度があればもっと障害者を雇用しやすくなるのに、というようなことはございませんか？

北野氏：現行の法定雇用率（業種別）達成に関する行政指導は、実感として当社のような販売会社には大変厳しいものがありますが、イトーキとしては、企業体として積極的に取り組もうと考えております。ただ、行政は障害者を雇用する企業に対して、種々の助成制度を設けておりますが、全く障害者に関係ない人の退職理由等によって、障害者を雇用しても助成の対象にならない場合があるとか、また聴覚障害を持つ社員のために手話通訳者を派遣してもらおうとしても、7~8名以上雇用しなければ助成対象となりません。指導とともに、もう少しきめ細やかで、柔軟な助成制度があれば、もっと障害者雇用もスムーズに進むのではないだろうかと感じます。しかし、行政制度がどうであれ障害者雇用は推進されるべきものであり、多くの企業が、あと1名づつ積極的に雇用するという取り組みを始めるだけでも、相当の推進が図れるのではないかと思います。



竹 中：企業の積極的な雇用の推進を、私達も心から願っております。

現在の御社における障害者雇用の状況・業務内容などをお聞かせ願えますか？

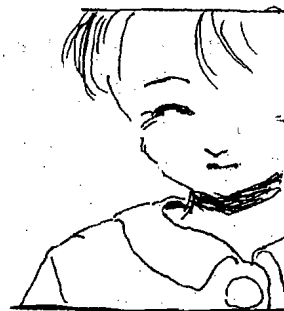
北野氏：人事部に車椅子の男性がおり、人事記録のコンピューター入力などの業務を行っています。また、営業にも車椅子の女性がおり、営業活動報告などのデータ入力業務を行っています。出勤中に見かけられたというのは、たぶん朝倉さん、というこの女性でしょう。さらにデザイン部門にはデザイナーの男性が通勤しています。そのほか、システムエンジニアと言われる職種にも障害者の男性がおります。

竹 中：コンピュータで仕事をされるということですが、どのようなコンピュータを使いこなせば採用する、などという何か基準のようなものはございますか？

北野氏：基本的には、キーボードがたたける状態の方なら、OKです。さらにパソコンの基礎知識（情報処理技術など）のある方ならなお良いですね。機種などは問いません。入社前にイトーキにあるものと同じパソコンで勉強していなくても、入社後に我が社のマニュアルで操作方法などを学んでいただければ、大丈夫なシステムになっています。

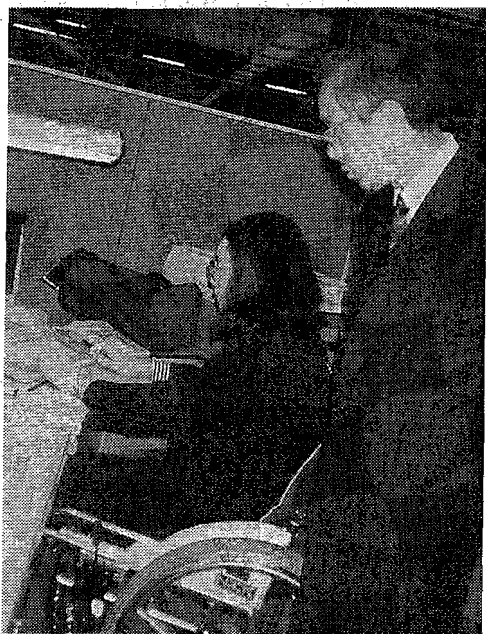
竹 中：他に採用の基準といったものがあれば、教えて下さい。

北野氏：採用にあたっては、やはり、意欲・やる気が第一です。できれば自分で通勤・出社できる方が望ましいです。北浜の賑やかな所ですが、駐車場も確保しておりますので、自動車通勤も可能です。また、身の回りのことが自分でできる、という点を原則としております。それと、その方が自分の障害をどのように受け止めておられるか、という点は、その方の生きる姿勢、自立心と言いますか、それがやはり重要な事柄だと思っています。



竹 中：車椅子の社員が入った時、一般社員の方の反応などは、どのようなものでしたか？

北野氏：特に問題なく受け入れられたようです。身の回りのこと、業務のことなど普通のアドバイスはあっても、特別な手助けなどはしていません。人間関係の第一歩は、お互い気持ちの良い「あいさつ」を交わす事だと思いますが、この辺のこともきちりできています。どうぞ、実際に職場をご覧ください。



ここで、念願(?)の突撃インタビューの機会をいただきました。本社営業部に勤務される朝倉さん(27才)は、下肢完全麻痺、上肢と言語にも少し障害があります。大阪市平野区の職業リハビリテーションセンターで情報処理実務を修得し、就労のチャンスを待っていた折、職業安定所の紹介でイトーキと巡り会い、平成3年9月にイトーキに中途入社されました。

竹 中：はじめまして。お仕事、突然すみません。早速ですが、イトーキに採用が決定した時は、どのようにお感じになりましたか？

朝倉さん：採用が決まったと聞いたときは、たいへん嬉しかったです。

竹 中：イトーキに勤められて、お仕事の方はいかがですか？

朝倉さん：体はしんどいこともありますが、仕事は楽しくこなしています。業務にも慣れました。

竹 中：体がしんどい時は、どのように対処しておられるのですか？

朝倉さん：土曜・日曜には鍼灸士の姉にマッサージしてもらい、体の疲れをとっています。また、月に1回程度通院のために有給休暇を取っています。最近、忙しくて月1回の通院がなかなかできない現状ですが・・・(^_^)。

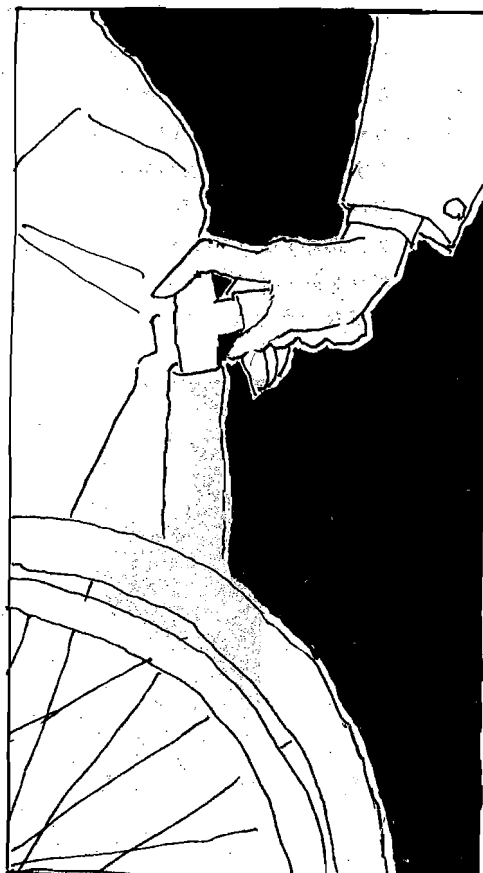
竹 中：職業リハビリテーションセンターで情報処理技術を身につけられたそうですが、実務でパソコンを担当されて、いかがですか？

朝倉さん：社内の仕事は入社してから教えて戴き、覚えました。社内マニュアルに添った入力ですので、そんなに難しくはありませんが、ミスが有ってはいけなないので、最初はかなり緊張し、肩がこりました。

竹 中：今後の予定などについてお聞かせください。

朝倉さん：できる限り、長く勤め続けたいと思っています。車の免許は持っているのですが、まだ自信がない状態です。早く自分の運転で通勤したいと思っています。

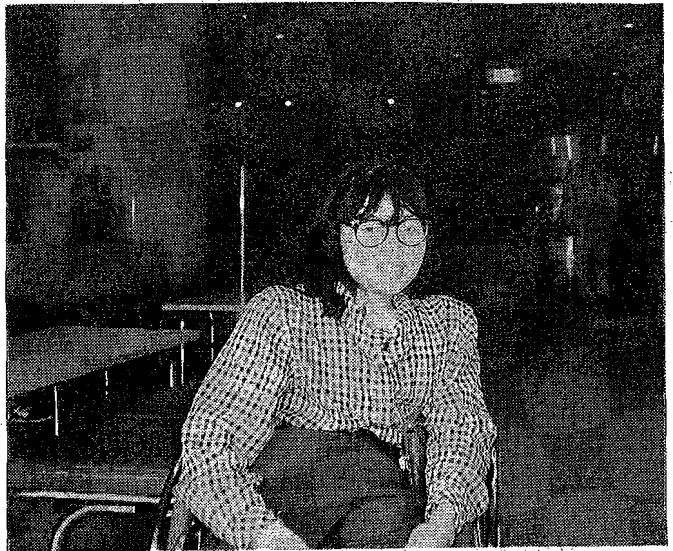
竹 中：どうもありがとうございました。どうか、元気にお仕事をお続け下さい。



人クローズアップ! 5

中橋 紀子

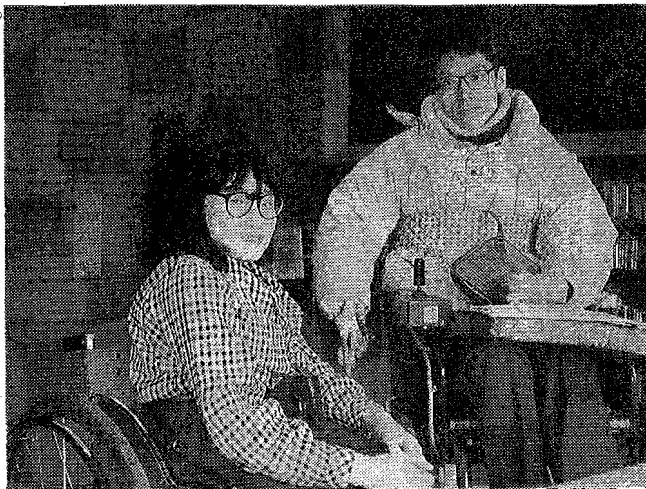
(なかはし のりこ) さん



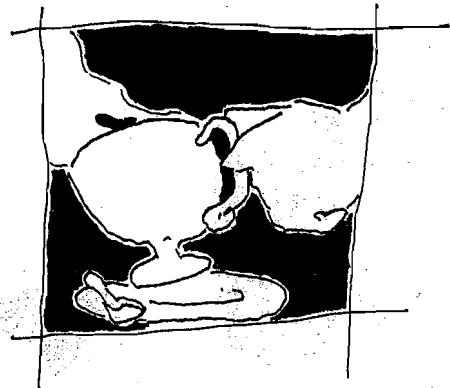
今回の人クローズアップ(略して“人クロ”)では、初めて女性の方を取り上げました。彼女は現在、車椅子の生活ですが、去年、株式会社 リクルートに入社し、元気に働いておられます。彼女に仕事についてのお話などを西宮市総合福祉センターにて伺ってきました。

中橋紀子さん。彼女は2才の頃から歩くことができなくなり、脊髄腫瘍の疑いで手術を受けました。しかし、病状は改善されず、その後下半身麻痺のため車椅子の生活を送っています。手帳の上では脊髄損傷となっていますが、実際の原因はよく分からないそうです。

小学校は養護学校に通いましたが、中学・高校は地元の普通公立校に通いました。よく知られたことですが、障害者のための設備がある学校はほとんどなく、当然中橋さんの通った中学・高校にもそういう設備はなかったもので、階段では、校舎の各階に車椅子を用意し、友達に体を担いでもらって移動していたそうです。統合教育を進めるために、学校の障害者の為の設備の充実の必要性が、この話からもわかります。その後、関西大学法学部に入学し、運転免許を取って車で通学していました。



就職に関しては、当初、民間企業では受け入れられないと考え、公務員を目指していました。しかし、公務員の障害者枠の採用試験が1月と遅かったので、一般の公務員試験を受けました。また、一般企業でも就職できる場所があればと大学の就職科に相談したところ、障害者を採用予定の会社を30社ほど紹介してもらいました。しかし、ほとんどの会社が歩ける人を対象にしていました。公務員試験後、IBMとリクルートが車椅子でもOKであることを伝えられました。リクルートに決めた理由は、大阪での採用で、車で通勤可能だったからでした。また、IBMの方は、SE(システムエンジニア)を求めており、「自分には難しい」と思ったそうです。リクルートは面接でも、特に問題なく、トントン拍子に採用が決まったそうです。



所属は人材開発部で、一般の企業の人事部と同様の仕事だそうです。業務は、書類チェックやワープロ入力などのデスクワークが主です。雇用形態は一般社員と同じ正社員で、出勤時間・曜日なども一般社員と同じです。時には夜の8時、9時まで残業することもあるそうです。福利厚生面でも一般社員と同じ待遇です。仕事はフレックスタイム制で、いつも朝9時頃、会社に到着して仕事を始めるそうですが、それでも7時半に家を出るので、毎日の通勤が結構大変だそうです（また、これには大阪のドライバーの運転の荒さによる精神的な疲れも大いに関係しているそうです）。彼女いわく、「他の部門との関わりが多い業務なので、それぞれの部に移動することも多いですが、社内の移動には特に問題はない。」

採用の際、会社が考慮した点は、ハード的な面ではトイレを改造した程度でした。一方、ソフト面では、総合職の新入社員（彼女ももちろん、総合職）が行うことになっていた営業研修を免除されたことです。

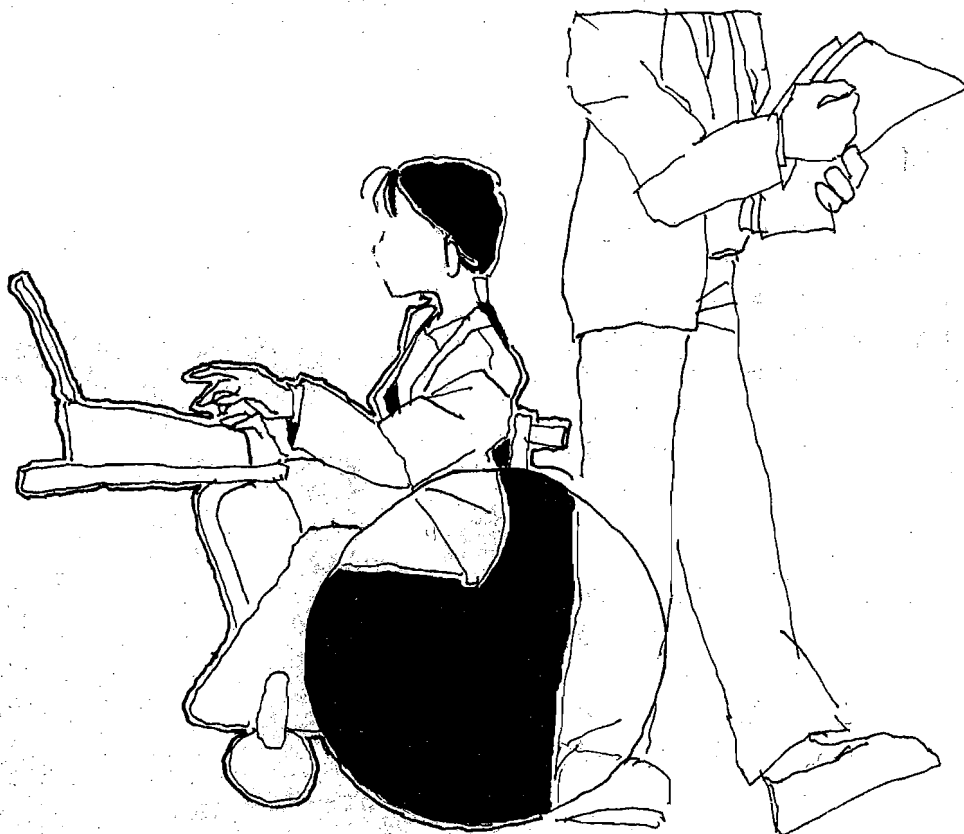
リクルートは社員がみんな若く、そのことが社風にも反映されているのか、仕事は結構ハードです。そのため、体力的にはきつい面もあり、休日は遊びに行ったりすることは余りなく、家で体を休めているそうです。入社後に同僚と一緒に遊びに行くことも余りないとおっしゃっていました。これでは、他の社員とのコミュニケーションがうまくいかないのでは？と心配してしまいましたが、周りの社員の方の理解があつて、そういうことはないそうです。

リクルートの今後の障害者雇用に関しては、「世の中不景気で、人員削減が行われる現状では、はっきり言ってそれ（障害者を雇用する）どころではないのではないか」とおっしゃっていました。ただ、企業は障害者側が考えているより、障害者雇用法の1.6%枠を気にしているようです。「労働省が障害者雇用率未達成企業の公表に踏み切ったこともあり、企業イメージの低下を相当恐がっているのがわかった」とおっしゃっていました。

仕事とは別に、以前から中橋さんは、神戸で民間デイケアや精神薄弱者のパン工場経営などの活動を行っている「えんぴつの家」で、お手伝いをしているそうです。現在は、働く希望を持っているCPの高校生の進路相談にのっているそうです（プロップでも何かお手伝いできるかな?!）。

「将来は何か資格を取って、それを活かした仕事をしてみたい！そして、近いうちに一人暮らしをしてみたい！！」との希望を語ってくれました。しっかりと自分の考えを持って、生き生きと生活されている素敵なお女性でした。中橋さん、体には気を付けて、お仕事頑張ってください。そして、自分の夢を実現してください。

(げんた)



幕張MACWORLD EXPOレポート

BY セブン



1993年2月11日朝、新大阪駅に集結したのは俳人の京愛さん、「女玉川」の異名をとる石原嬢、そして品行方正で謹厳実直な悪のプログラマであるこの私であった。これから幕張への出発である。果たして幕張でわれわれを待つものはいったい何か!!

朝が早いので、新幹線の中でゆっくり眠るつもりであったが、...げ、自由席が満席やんけ、指定席行こうぜ、わわわ、3人分あいてるで、それ座れすわれ、..。

念のために言っておくが、ほかの二人はともかく、この私は幕張でのMACWORLD EXPOなんぞこれでもう3回目だ。前回なんか自慢じゃないが、あのスカリー会長と握手してもらったり、写真撮らせてもらったりまでしたのだ。「通」とか「玄人」と呼んでもらいたいもんだ。あらかじめ会場の地図広げて、回る順番をあれこれ考えたりなどする必要もない。ましてや、新幹線の中でおやつ広げたり、ビール飲んでじゃぎ回ったりなどしないのだ。

(陰の声：一番はしゃいでたのは、誰やねん?!)

それにしても、東京駅での京葉線への乗り換えの遠いこと遠いこと、あれは本当に同じ駅か?すでに東京発蘇我行き京葉線快速電車は、「同類」の気配が充満していた。言葉の端々に、持っている雑誌に、そして自分と同類を探すような視線に、すでに「Macおたく」の気配が満ちていた。

電車は舞浜、東京ディズニーランド前で止まる。場違

いな雰囲気にとまどうように降りる家族連れが少々、あと残っているのは、ほぼ全員が幕張を目指していることは言うまでもない。

ついに海浜幕張駅、目指す幕張メッセまであとわずかである!!...と思ったら、新幹線のチケットの東京近郊から外れるので精算が必要になる。が、窓口はすでに長蛇の列でありましたとき。。。

ついに到着したぞ幕張メッセ! 予想はしていたものの、これ程の人出とは思わなかつ

た。

(後日談：この日は1日で3万人の人出だったそうな。会期全体で10万人)

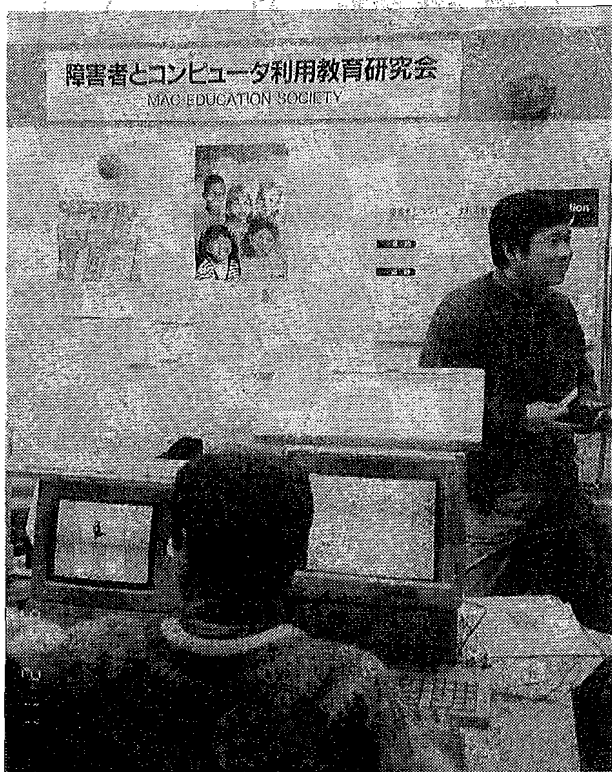
新製品の並ぶアップルのブースは文字通り「黒山の人だかり」。新製品のカタログをもらうだけでも長蛇の列である。この日は時間を優先するためにこのカタログは諦めることにした。なにせ、私以外の二人は日帰りで大阪まで戻るのだ。少しでも沢山の展示を見られるように案内しなければならない。

出展している有名な安売りショップの周囲など、容易には近づけない箇所を避けながら、我々は「あの」



MacJapanライターとして名高い玉川氏が待つ〇和のブースへと向かった。しかし、彼は席を外していたので、先に別の展示を見に行くことにする。

今回もユーザーグループの展示があった中で、「障害者とコンピューター利用教育研究会」というグループの展示を見つけた。いろいろ話を聞いてみると、Macintoshに接続可能な障害者向けデバイスの開発なども行っているらしい。しかし、しかしである。自分たちの紹介をし

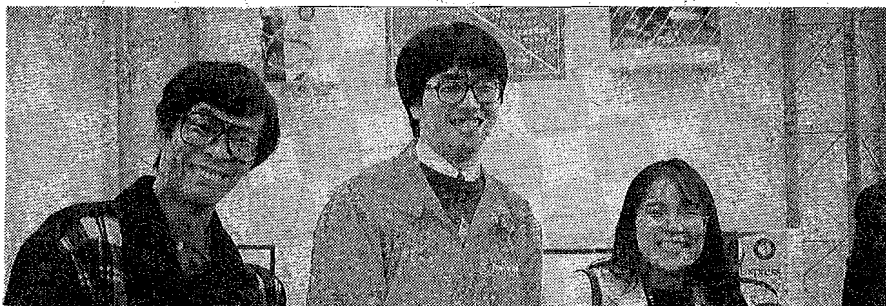


ようとする段になってはたと困った。なにせ、プロップの資料など何も持って行っていないのであった(汗)。やはり、ナミええだけは首に縄をかけても引っぱって行くべきであったと思ったのでありました。

このほか、その場で自分の写ってるQuickTimeのデータを作ってくれるブースで、京愛さんの姿を撮影してもらったりしておりました。

さて、再び〇和のブースへ向かう。今度は玉川氏を捕まえることができた。特筆すべきは彼の服である。まるで還暦祝のごとき赤いジャンパーに注目。(陰の声：一番恥ずかしい服着てたのは、誰やねん?!)

黙れだまれ陰の声め。ふん、証拠は残ってないからなんとでも言えるわい。



それにしてもこの3人はどうしてこんなに似ているのだろうか???

... 某ブースでの会話...

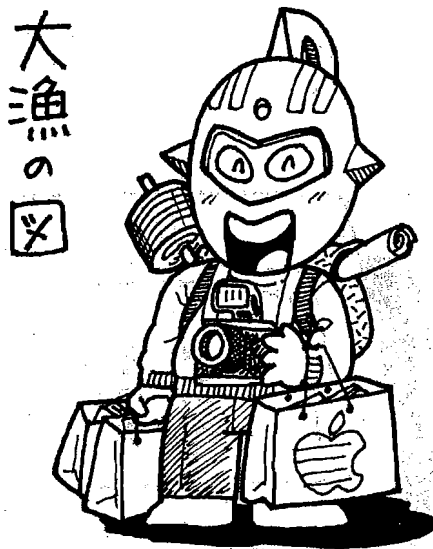
「このヘリックス(データベースソフト)は凄いですよ。」

「アイアン=ヘリックス(ゲームソフト)とどっちが凄い?」

... このMacおたくは、実在する。

ここで私だけ別行動を取り、普段は会えない東京のネット仲間とのミニオフライン会に顔を出すことにする。後の二人は、残りの展示で資料集めにいそしんでいたらしい。(陰の声：無責任な奴やのお。)

残り時間はあとわずか、大阪への土産?そんなもの買う暇あるかい!資料集めまくるんじゃ... ってなもんで、集めた資料は宅配便で送り、身軽になった京愛さんと石原嬢は大阪に戻り、私は千葉のホテルへと向かうのであります。



(右から)石原嬢、玉川氏、京愛さん

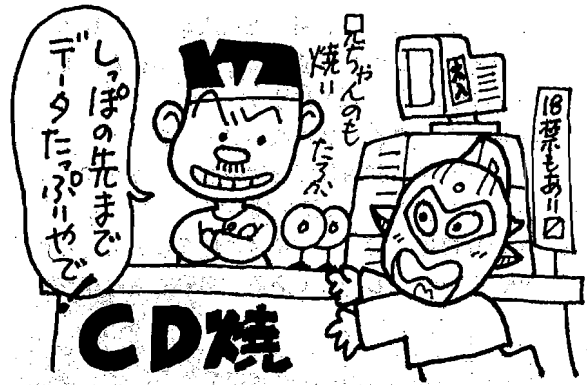
来年の参考までに書いておくと、受験シーズンであるこの時期に東京のホテルを取るのは至難の技であるが、千葉方面は結構楽に取れるものである。(陰の声:そんなもんで通ぶるんじゃない!)

さて、翌日である。

この日は平日だからすいてるだろうと思ったら甘かった(^_^;)。前日よりネクタイ着用者の比率が高いものの、結構な混雑でありました。私は午前中に集められるだけの資料を集めて宅配便で送り、午後は面白そうな商品を買ってあさる作戦でした。

落ち着いて今年の展示を見渡せば、あちこちのブースでCD-ROMの姿を見ることが多かった。CD-ROMの大容量でなければ実現しえないソフトが続々と展示され、サンプルのCD-ROMを無料で配っているブースも珍しくない。やはり、CD-ROMが本格的に普及し始めている証拠でありましょうか。「先着何名様に無料進呈」とか、「時間限定で配布します」とかいうのが多かった。もちろん、私は只でもらえるものは、可能な限りもらってききましたが。

これ以外にもいろいろと購入したので、CD-ROMは合計11枚にもなってしまう、いまだにその内容すべてに目を通すこともできていない状態です。



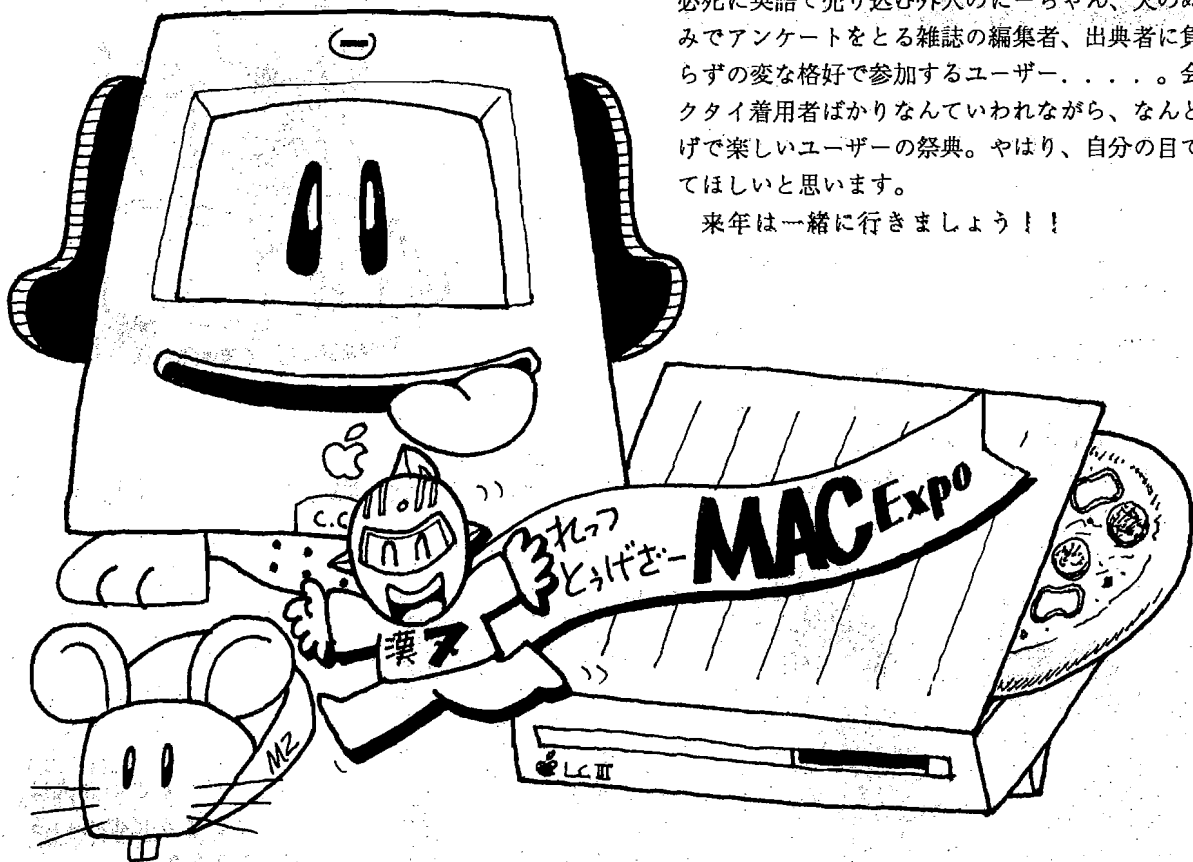
この他にもCD-ROMを扱うブースは多かった。なにせ18才未満お断りの製品のブースまであったりする。(実際に買う勇気はなかった。なかったってば。。。) ユーザーグループが、自分達のオリジナルのCDを販売するのも、もう当り前の風景になってしまった。プロダクトでもネットのログやら、卒業制作の作品やら集めてCD-ROM化して来年は幕張で売りましょう。そうすればそれを口実にまた来年も幕張へ行ける。

そうそう、この日はなぜか車椅子での参加者も目立ちました。来年はもっと多人数でまともに行きたいですね。

セブンこと 上杉栄二

追伸: しかし、EXPOの持つなんとも怪しげな魅力をこんな短文に込めるといふ試みが無理なのかもしれない。必死に英語で売り込む外人のにーちゃん、犬のぬいぐるみでアンケートをとる雑誌の編集者、出典者に負けず劣らずの変な格好で参加するユーザー.....。会場がネクタイ着用者ばかりなんていわれながら、なんとも怪しげで楽しいユーザーの祭典。やはり、自分の目で確認してほしいと思います。

来年は一緒に行きましょう!!



データショウ ' 92 アクセシビリティ

関連機器のご案内 II

*①連絡先 ②標準価格 ③機能概要

肢体障害の方のための情報機器

○キーボード操作をもっとスムーズに行いたい方には
(キーボード付加機能・器具)

■シフト・キーなどの操作をやさしく…

順次入力機能 Ex.PKCON (試作・実費配布可)

①石川晴美さん 〒813 福岡市東区若宮1-27-29

TEL.092(672)3137

PC-VAN ID=YEE98934

NIFTY Serve ID=HDA03062

③標準キーボードでは、シフト・キーやCTRLキーを文字キーと同時に打鍵することで、文字キーに別の意味をもたせている。しかし、手や指が不自由だと同時打鍵が困難なので、シフト・キーなどを押した手をいったん離してから文字キーを打っても、同時打鍵の機能を得られるようにするのが順次入力機能。PKCONでは、これをソフト・ウェアによって実現している。MS-DOSにフロント・プロセッサとして組み込めるので、このソフトを組み込んだ後も一般のアプリケーションが作動する(他にもメモリ機能・プリンタの遠隔操作機能付き)。

■まちがったキーを打たないように…

キーボード・カバー

③不随意運動のある方や、手指は随意で動くが腕が動かないといった方がキーボードを扱うときに、目標とするキー以外のキーを押してしまわないようにガードするパネル。一部のワープロでは、メーカーがこれを供給しているところもあるが、大部分は手作りである。受注によって専門に作成しているところもある(以下はその例)。

①・大阪府肢体不自由者協会 自助具の部屋

〒540 大阪府中央区森の宮2-13-33

府立青少年会館内

TEL./FAX.06(944)4705

・メディアケア(株)

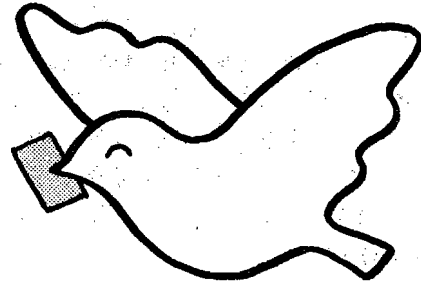
〒460 愛知県名古屋市中区金山2-8-4

TEL.052(331)1731/FAX.052(231)4931

・(株)小林商事

〒177 東京都練馬区立野町10-35

TEL.03(5991)2933



○標準キーボード以外を入力装置をとという方には
(キーボードコンバーター・

キーボードエミュレーター)

■ENTRY-1 (ハンディ・キーボード)

①日本テクニカル工業(株)

〒220 神奈川県横浜市西区久保町41-3

TEL.045(253)4400/FAX.045(253)4466

②¥38,000より

③8ビットCPUを搭載した高性能なプログラマブル・ハンディ・キーボード。各社パソコンのキーボード・インターフェースに対応。キーボードの一つひとつのキーコードを任意に交換できるので、自分にあつたキー割付ができる。また特に「身体障害者向け」として、順次入力機能を備えた機種も用意されている。

■β-98 (ジョイスティック対応インターフェース)

①東京ニーズ(株)

〒110 東京都台東区上野5-3-13

TEL.03(3832)3801

FAX.03(3836)2243

②¥9,800

③パソコン本体(PC98、エプソン)とキーボードの間に取り付ける。MSX仕様のジョイスティックの動きと、トリガーボタンをキーボードに割り付けるものであり、2つのモードがある。

●オートモード：4方向/8方向の選択が可能。SP/CRの組とZ/Xの組を選択可能。

●プログラミングモード：フルキーボード上の全てのキーに対応。8方向プログラミング可能。CRT上の対話形式によるプログラミング方式採用。

なお、リピート機能を解除しているため、肢体障害の方も使いやすい。